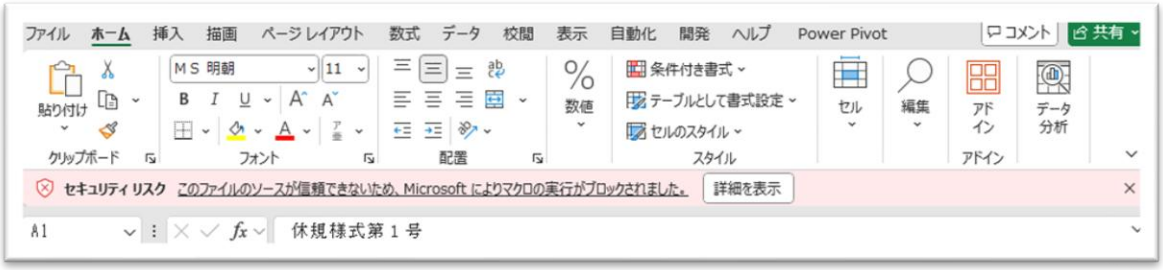
Officeソフト（Excel）のバージョンアップに伴う
当協会ホームページ掲載ソフトの一部不具合及び対応状況について

Excelのバージョンアップにより，一部の事務ソフトで不具合が生じています。
現時点で判明している内容は以下のとおりです。

1　拡張子不一致エラー

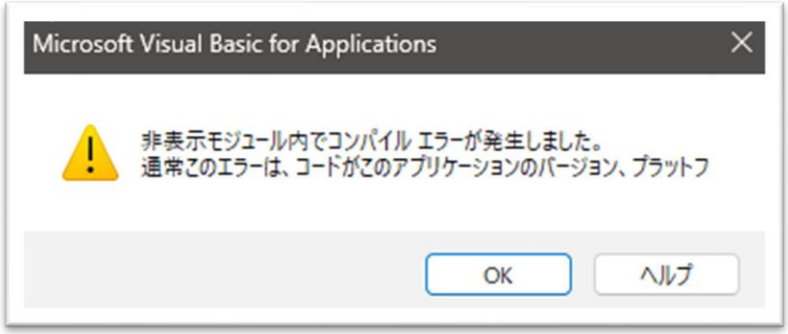
使用者個人で対応可能。ソフトを開いた際に以下のエラーが毎回表示される。

2　セキュリティリスク・マクロ実行ブロック



使用者個人で対応可能。新たにマクロが含まれているファイルをダウンロード・起動した際に表示される。

3　コンパイルエラー



現時点では対応困難。技術的な要因により、マクロが使用できない状態。

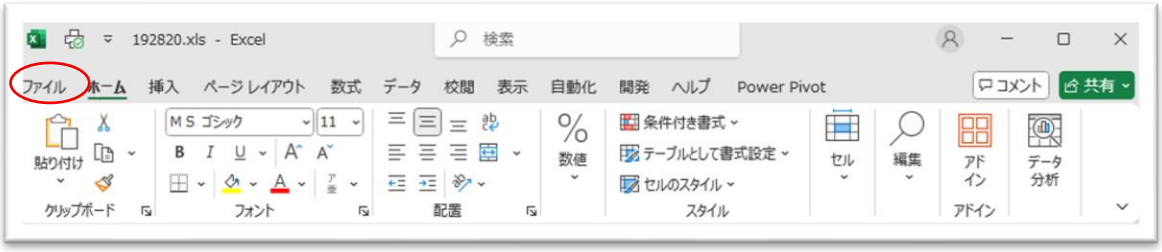
目次へ戻る

1　拡張子不一致エラー　対応可能
　ソフトを開いた際に以下のエラーが表示される。

対処法　1
「いいえ」を選択してエクセルファイルを閉じる。ファイル名に拡張子が表示されている場合はxlsをxlsmに書き換える（末尾にmを加える）。

対処法　2
①　「はい」を選択

②　エクセルの左上部「ファイル」を選択



③　左部「名前を付けて保存」を選択

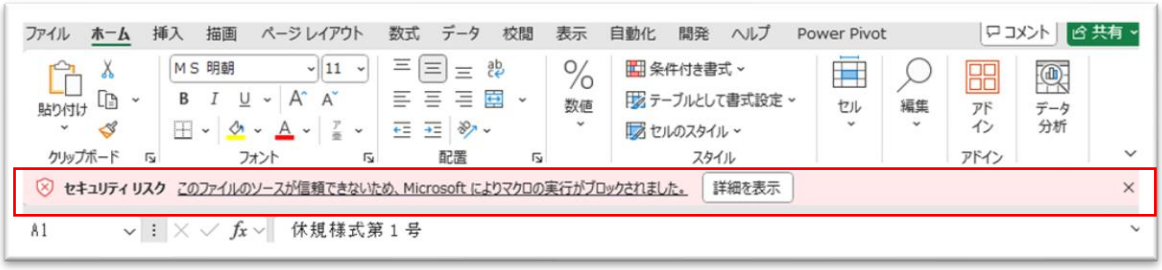
④　（右上のファイル名に「.xls」が表示されている場合は「.xls」を消して，下の）プルダウンメニューから「Excelマクロ有効ブック」→「保存」を選択する。もとのファイルがあったフォルダ内に拡張子がxlsmのファイルが新たに生成されますので元のデータを削除する。

以上

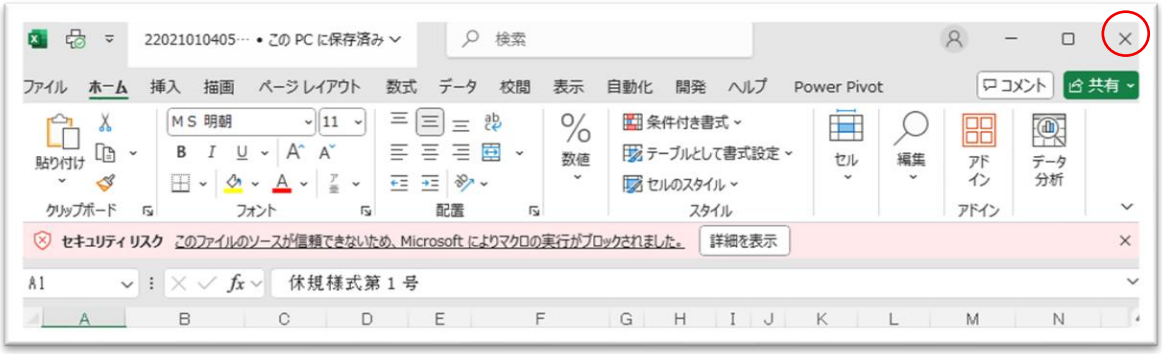
目次へ戻る

２　セキュリティリスク・マクロ実行ブロック　対応可能

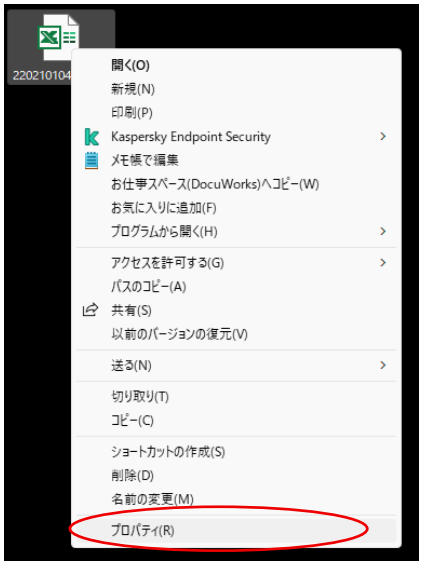
新たにマクロが含まれているファイルをダウンロードして起動した際に表示される。

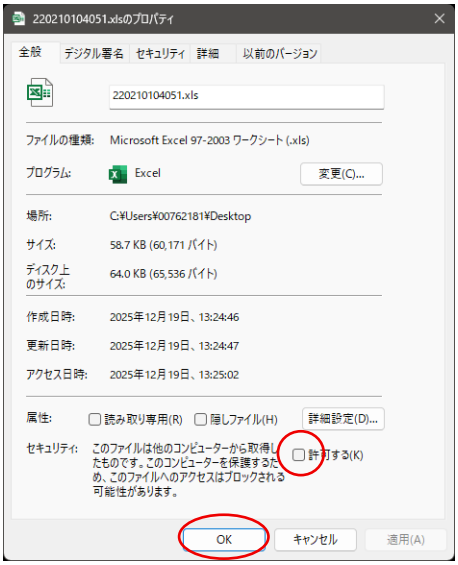


① エクセルファイルを閉じる。



② 当該エクセルファイルを右クリックして「プロパティ」を選択する。（画像左側）
プロパティ・全般タブ下部のセキュリティの右側の「許可する」にチェックを入れて「OK」を選択する。（画像右側）

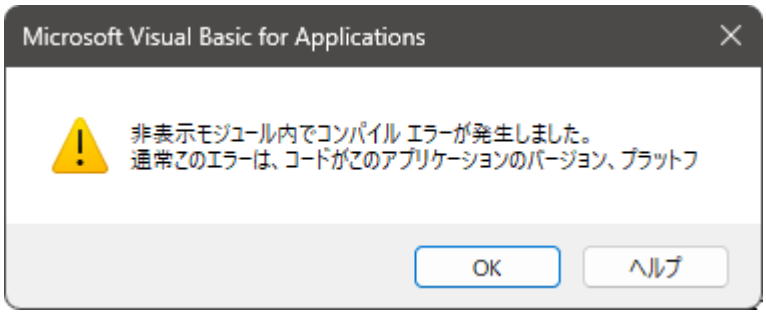




以上

目次へ戻る

３　コンパイルエラー　現時点では対応困難



技術的な要因により、マクロが使用できない状態。
解決方法については、現時点では未定。

以上